

木材業界と SDGs ! (2)

先月はゴール6について書きましたが、今回はゴール11、13について、考えてみます。

* ゴール11 : 住み続けられる街づくりを !

全国には800万戸の空き家があると言います。田舎にも都会にもまだ十分住めるのに空き家になっている。高齢化に伴い過疎化が進み田舎を離れる。都市部では供給過多で、より便利できれいな家へ引越し、少し古くなった家は空き家になっていく。これが今の日本である。TVでは「ポツンと一軒家」という番組が好評である。小さいころ育ち、両親が亡くなり空き家になった家、奥さんの実家、新しい生活を求めて探した家など様々であるが、木造が殆どである。

住み続けられる街づくりとはどうすればよいのでしょうか？地震や津波、洪水等の自然災害強い頑丈な家で電気等インフラのしっかりした街づくりをすればよいのでしょうか？住み続けるためには頑丈だけではなく、人間に優しい環境の街づくりという事になるのでしょうか。木造は適正な維持管理を行えば1000年以上長持ちすることは法隆寺などが証明しています。最近では自然と共生できる家づくりとして、パッシブ設計なども注目されています。木造住宅を大事にしたいものです。

* ゴール13 : 気候変動に具体的な対策を !

NHKの朝ドラ「おかえりモネ」で森林組合の活動が紹介されている。山の天候に興味を持ったモネは気象予報士をめざし勉強中であり、気候について興味をそそられる。森林の効用についてはいろいろなデータが発表されている。森林は、河川の水量の増加を防止し、雨水を地下水として蓄え、きれいな水として、数百年供給し続ける。又、植物は光合成により二酸化炭素を吸収して酸素を供給している。広葉樹、針葉樹が混ざり合う事で土砂崩れを防ぎ、鳥獣類を育み、フィトンチッドで人間の健康に寄与している。木材の有効活用が気候変動に大きく寄与できる事に誇りをもちたいものです。

【情報】

原木も高騰・隼人市場6月平均は例年の1.8倍！

製品の高騰品不足から原木も高くなっています。県内の中小製材所では原木が買えない状況でさらに製品不足が心配されます。アメリカの需要は一服感が出てきたと一部報道はありますが、中国の需要は衰えず、しばらくは現状維持か更なる高騰が危惧されます。

工業技術センター研究成果発表会が開催されます！

日時：7月15日(木) 12:50~16:00

場所：工業技術センター

テーマ：スギ材のめり込み特性を活用した高靱性軸組工法の開発 他

【定休日】

7月は3, 4, 10, 11, 17, 18, 24, 25日

8月は1, 8, 13, 14, 15, 16, 22, 28, 29日となります

宜しくお願いします

世界的木材高騰 県内に波及

製材業者「買えぬ」

スギ原木25年ぶり高値

製材業者「買えぬ」
製材業者は、スギ材の不足を懸念し、高騰を懸念している。高騰を懸念している製材業者は、高騰を懸念している。高騰を懸念している製材業者は、高騰を懸念している。

スギ原木の入札状況(1~6月)

月	平均単価(円)
1月	約10000
2月	約10000
3月	約10000
4月	約10000
5月	約10000
6月	約10000